

鳥取大学農学部、生物資源環境学科、生物資源科学講座、分子細胞生物学研究室(鳥取市湖山町)では、下記の要領で博士研究員を募集します。ご興味のある方は、是非ご応募下さい。また、お近くに適任者がいらっしゃいましたらご周知下さいますようお願い申し上げます。

また、来る日本植物生理学会年会のポスター会場にて、本件に関するお話をすることもできますので、ご周知宜しくお願いいたします。

【雇用予定期間】

平成 27 年 4 月以降のできるだけ早い時期から、単年度契約で、評価により最長で平成 29 年 3 月 31 日まで更新可能です。

【業務内容】

バイオディーゼル燃料植物ヤトロファの野生種系統のオミクス解析やヤトロファ形質転換体を用いた機能解析を通して、ヤトロファの環境応答メカニズムの解明を図り、ストレス耐性に優れバイオマス生産性を強化した植物の作出を目指します。各種のヤトロファ系統を分子生理学や分析化学などの手法を用いて解析し、基礎科学および応用科学の両面から研究を推進していただける方を募集します。本業務は、SATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力)採択プロジェクト「ボツワナ乾燥冷害地域におけるヤトロファ・バイオエネルギー生産のシステム開発」(2012-2016、代表：明石欣也)の一環として行われます。

【勤務場所】

国立大学法人 鳥取大学農学部、生物資源環境学科生物資源科学講座、分子細胞生物学研究室 (鳥取市湖山町)

【雇用条件】

給与・雇用条件は鳥取大学の規程及び応募者の経験等により決定します。

具体的な待遇につきましては別途お問い合わせください。

【勤務形態】

平日週 5 日 (1 日 7 時間 4 5 分勤務, 1 週間あたり 3 8 時間 4 5 分)

【応募条件】

1. 理系の大学院で博士号を取得し、分子生物学、分子育種学、または植物生理学的な実験に長じており、植物の環境応答と乾燥地でのバイオマス生産に強い興味を持っている方。
2. 植物生理学、分子生物学、代謝工学、遺伝子組換え植物を用いた諸解析の、いずれかの

研究経験がある方が望ましい。

3. ゲノム、トランスクリプトーム、プロテオーム、メタボローム等分析技術に秀でており、その技術を指導できるとさらに望ましい。
4. 人格が高潔で協調性があり、スタッフと協力して仕事を進めていただける方。

【選考方法】

書類選考後、必要に応じて面接を行うことがあります（面接の交通費は応募者負担）

【応募締切】

適任者が決まり次第締め切ります。

【応募書類】

1. 履歴書
2. 研究業績リスト
3. 主要論文の別刷り（5編以内）
4. これまでの研究の概要と今後の抱負（A4 2 頁程度）
5. 照会可能な方 2 名の連絡先

以上の応募書類（Word 又は PDF ファイル）をメール又は郵送でご提出ください。

なお履歴書には連絡可能な電子メールアドレスを記載してください。電子メールの場合は、MS Word または PDF ファイルで御応募下さい。尚、添付書類は 5MB を越えないようお願いいたします。提出していただいた書類は、本学の規程に則り厳重に管理し、採用審査の用途に限り使用されます。これらの個人情報には正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することは一切ありません。応募書類の返却を希望される方は、応募時に所要額の切手を貼った返送用封筒を同封して下さい。

【書類送付・問合わせ先】

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学農学部生物資源環境学科生物資源科学講座

分子細胞生物学分野

明石 欣也

電話：0857-31-5352

E-mail：akashi.kinya@muses.tottori-u.ac.jp